



特殊詐欺被害に遭わないために 固定電話対策をしましょう



令和2年中における特殊詐欺被害のうち、「オレオレ詐欺」、「預貯金詐欺」、「キャッシュカード詐欺盗」の3手口、昨年11月に発生した「還付金詐欺」の被害者は、ほぼ全員が高齢者でした。

これら手口では、犯人からの電話が全て被害者方の固定電話にかかってきているという特徴があります。

県警では、本年も固定電話対策として犯人からの電話を直接受けない環境づくりを推進しており、あらゆる機会において、「迷惑電話防止機能を有する機器」の有効性について広報しています。

固定電話対策の効果

- 着信音が鳴る前に、録音する旨の警告メッセージが流れるので、録音を嫌がる犯人が自ら電話を切る。
- 高齢者は、犯人からの電話を直接受けることがない。

特殊詐欺被害に遭わないためには、犯人からの電話を直接受けない環境をつくるのが極めて有効です。

「固定電話対策」で、特殊詐欺の被害に遭わないようにしましょう。

固定電話対策として、

迷惑電話防止機能を有する機器

(迷惑電話防止機能付き電話・特殊詐欺電話撃退装置)

を活用しましょう。



- 迷惑電話防止機能を有する機器には、
- 着信音が鳴る前に、電話をかけてきた相手に自動で警告メッセージを流す
 - 電話に出ると、通話内容を自動で録音する
 - 非通知の電話は、着信拒否される
- などの機能がついています。
(※種類や契約内容により機能は異なります。)

この通話は録音
されます

